日 本 溶 接 協 会 規 格

疲労亀裂伝播試験方法

正誤票

区分	位置	誤	正
本体	5.1.1 5.1.2	σ_{YS}：降伏応力[MPa]	σ_{YS}：試験温度における降伏応力又は 0.2 %耐力[MPa]
本体	5.2	σ_{YS}：降伏応力	σ_{YS}：降伏応力又は 0.2 %耐力
本体	6.3.3	$\Delta K = \Delta K_0 exp[C(a - a_0)]$	$\Delta K = \Delta K_0 exp[C_K(a - a_0)]$
本体	7.1	付録 A	附属書 A
附属書 A	-	・・・荷重軸に並行になるように,・・・	・・・荷重軸に平行になるように,・・・
附属書 B	B.2.2	・・・亀裂先端近傍ひずみから引算し，ヒステレシスループを求める。	・・・亀裂先端近傍ひずみから引算し，ヒステリシスループを求める。
附属書 B	B.2.2	・・・膨らみが減少して RPG 荷重算出の精度が・・・	・・・膨らみが減少して亀裂開口荷重及び RPG 荷重の精度が・・・
附属書 B	B.2.3	･･･計測することは**付録 B.2.2** と同様だが,･･･	・・・計測することは **B.2.2** と同様だが,・・・
附属書 B	B.3	・・・計測すると，ΔK_{eff}，及び ΔK_{RPG} を算出するために・・・	・・・計測すると，有効応力拡大係数範囲 ΔK_{eff}，及び RPG 荷重基準の有効応力拡大係数範囲 ΔK_{RPG} を算出するために・・・

令和 6 年 7 月 1 日作成